

# 地域において多様な人材がいきいきと働 き活躍するための人材育成計画

—第11次奈良県職業能力開発計画—

令和5年3月

奈良県



# 目次

---

<b>第1章 計画策定の趣旨等</b> .....	1
1 計画の趣旨 .....	1
2 計画策定の背景と人材育成の主要な課題 .....	2
3 人材育成の観点 .....	3
4 計画の目指す方向性.....	4
5 計画の位置づけ .....	4
6 計画の期間.....	4
<b>第2章 人材育成を取り巻く現状と課題</b> .....	5
1 雇用情勢の変化 .....	5
1.1 現在の労働需要.....	5
1.2 就業者の状況 .....	7
1.3 人口推計.....	8
1.4 就業率.....	9
1.5 就業者数の将来推計.....	9
2 県内事業所における人材育成の状況.....	10
2.1 スキルアップ研修を実施する上での課題.....	10
2.2 コロナ禍における雇用や人材育成に関連する取組.....	12
2.3 従業員の過不足感.....	14
2.4 従業員に求める能力.....	14
2.5 デジタル化の取組状況.....	15
2.6 デジタル化を推進する上での課題.....	17
2.7 デジタル化を推進する人材確保の対策.....	19
3 多様な人材の就業状況.....	21
3.1 若者の就業状況.....	21

3.2	就職氷河期世代の就業状況	24
3.3	女性の就業状況	25
3.4	ひとり親の就業状況	28
3.5	高齢者の就業状況	30
3.6	外国人の就業状況	31
3.7	障害のある人の就業状況	32
3.8	非正規雇用労働者の就業状況	33
<b>4</b>	<b>地域における人材育成</b>	<b>34</b>
4.1	在職者のキャリア形成支援	34
4.1.1	在職者に行われている認定職業訓練や公共職業訓練の状況	34
4.1.2	非正規雇用労働者の能力開発	35
4.2	働く意思のある人たちのキャリア形成支援	35
4.2.1	高等技術専門学校（施設内訓練）	36
4.2.2	高等技術専門学校（民間委託訓練）	38
4.2.3	その他の県が運営に関わっている人材育成のための体制	40
4.2.4	学校段階におけるキャリア教育	40
4.3	職業能力を評価するしくみ	40
<b>5</b>	<b>社会・経済状況の変化への対応</b>	<b>42</b>
5.1	奈良県経済の状況	42
5.2	奈良県の経済と社会の振興～新しい時代の地域資本主義の推進～	42
5.3	我が国をとりまく経済構造の変化への対応	43
5.4	県内事業所における働き方改革	44
<b>第3章</b>	<b>施策体系</b>	<b>45</b>
1	施策体系	45
<b>第4章</b>	<b>推進施策</b>	<b>46</b>
1	産業構造・社会環境の変化を踏まえた人材育成の推進	46
1.1	デジタル技術を活用できる人材の育成	46

1.2	人材不足分野における人材の育成	47
1.3	技能の振興	48
2	多様な人材の適性、ライフステージ等に応じたキャリア形成の推進	49
2.1	就業意識の醸成	49
2.2	インターンシップの充実及びキャリア教育の推進	49
2.3	リカレント教育の機会の充実	50
2.4	労働者のキャリア形成への支援	51
3	多様な人材が活躍できる人材育成の推進	52
3.1	全ての人材に対する能力開発の支援	52
3.2	若者（15～34歳の若年層、若年無業者）に対する能力開発の支援	55
3.3	就職氷河期世代に対する能力開発の支援	56
3.4	女性に対する能力開発の支援	56
3.5	ひとり親に対する能力開発の支援	57
3.6	高齢者に対する能力開発の支援	57
3.7	外国人に対する能力開発の支援	58
3.8	障害のある人に対する能力開発の支援	59
3.9	出所者に対する能力開発の支援	60
3.10	非正規雇用労働者に対する能力開発の支援	60
<b>第5章</b>	<b>関係機関との連携</b>	<b>61</b>

■参考資料

- ・ 地域における多様な人材の育成、就労の促進及び再就職の支援に関する条例
- ・ 職業能力開発促進法（抜粋）